

【体内金属がある方】MRI検査の説明及び同意書

- ・当院では、患者さんの権利を守り信頼される医療を行う為、担当医師から検査、処置、手術等の内容について十分な説明を行い、患者さんの同意を得た上で医療を行うこととしております。
- ・患者さんへの医療にあたっては、ご家族の方も十分に理解されていることが、望ましい為、ご家族の署名もお願いしております。但し、患者さんご本人の了承が得られない場合は、この限りではありません。
- ・患者さんご本人からの了承を得る事が困難であるときは、ご家族の了承をもって、これに代えさせていただきます。（ご家族の範囲は、現実には患者さんのお世話をされている親族及びこれに準ずる者を含みます。）
- ・同意されない場合、または、実施直前までに下記同意内容を変更された場合でも、以後の診療において不利益を受けることはございません。

① 体内金属挿入部位：

② 製品名：

③ メーカー：

④ 体内金属挿入後のMRI検査歴 ☐ あり ☐ なし

⑤ 検査予約日時： 年 月 日 時 分から

⑥ 危険性及び緊急処置時の対応、⑦その他特記事項の説明 については、下記の説明書を使用しました。

☒ 【体内金属がある方】MRI検査の説明及び同意書を使用しました。

☐ その他説明書 [] を使用しました。

私は、今回の医療行為について、上記のとおり説明致しました。

年 月 日 時 分 説明施設名 []

(説明医師署名)

(立会者署名)

私は、上記事項について、上記の者より十分な説明を受けると共に、質問する機会を得ました。
その結果、今回の医療を受けることについて、次のとおりとします。

[下記項目で該当するチェックボックス ☐ にチェック ☒ をお願いします]

☐ この説明により、予定されている上記事項及び関連する事項について、理解できましたので、上記事項に必要な医療措置が行われることに同意します。

☐ 今回、上記事項についての医療措置を受けることについては同意しません。

年 月 日 時 分 署名場所 []

小川赤十字病院 院長 あて

(患者本人署名)

(家族等署名)

[患者との続柄：]

放射線科確認

【体内金属がある方】MRI 検査に関する説明

体内金属は MRI 検査で使用する強い高周波・磁場の影響を受ける可能性があります。

そのリスクについて説明します。

1. 吸引力、トルク

金属物は MRI 装置の強い磁場に吸い寄せられたり、磁場と同じ方向を向こうとする力が働きます。

その影響により、体内金属が動いてしまう可能性があります。

通常、医療で用いられる体内金属の多くは非磁性体（磁力に反応しにくい）金属を使用しています。

2. 発熱

MRI 検査は強い高周波を使うため、金属部が発熱し、熱傷の可能性があります。

模擬実験では、最大で 0.1～26℃の温度上昇が確認されています。

熱傷の危険性は金属物体の形状・向きのみならず、検査時の患者様の姿勢にも依存します。

左右の脚の接触、あるいは手と体幹の接触があると体内で電流誘導により発熱します。

当院では SAR（比吸収率：体温上昇に関係する値）を検査中に管理しています。

報告では 15 分間で局所温度が 42～44℃の範囲（正常体温 37℃よりも 5～7℃）に上昇すると可逆的熱損傷が発生し、局所温度が 45 度以上（正常よりも 8℃を超える温度）に上昇すると不可逆的熱損傷が発生すると云われています。

3. 画像の歪み

金属周囲に画像の歪みが生じます。

検査対象部位がこれらの歪みを受ける場合には検査の有効性に影響を与えます。

4. 歯科用磁性アタッチメント（磁石式インプラント）について

1) 磁石式インプラントは磁石と磁性ステンレスからなり、MRI 装置の磁場と高周波を受けることにより義歯が外れる、飛び出す、誤嚥、誤飲する恐れがあります。義歯にグラつきがないかを検査前に確認してください。

2) MRI 装置の発熱による温度上昇の影響

歯科用磁性アタッチメントは MRI の高周波の影響で発熱します。

しかし、温度上昇は 0.2～0.8℃であり、生体への影響はありません。

3) 画像への影響

磁石式インプラントによる金属アーチファクト（歪みや信号の消失）が生じます。

影響は 4～8 cm 程度の歪みを生じます。頭頸部の撮像では、アーチファクトの影響で正確に描出・診断ができない可能性があります。

歯科用インプラントの MRI 検査の可否は、かかりつけの歯科医に確認してください。

以上の可能性がありますので、異変（熱感・痛み・違和感）を感じた場合にはブザーを握りお知らせください。

緊急事態発生時には直ちに検査が中止となることをご了承ください。

体内金属は【MRI 検査可能・条件付き MRI 対応】の確認がとれているものに限り検査可能となります。